読んだ本（西村　寿雄／文　武田　晋一／写真　ボコヤマクリタ／構成）　岩崎書店

『石はなにからできている？』

中華人民共和国日本大使館附属北京日本人学校四年　青木（あおき）　孝穂（たかほ）

わたしは小さいころから、じゃり道などに行くと石をたくさん拾っていました。今でも旅行に行くと、きれいな石を見つけて拾うのが楽しみです。

この間の旅行で石を拾っていると、お父さんが「石は同じものが一つもないんだよ。」と言いました。そのとき、一つ一つちがうしいんだ。」と思いました。

この本を選んだのは、表紙にいろいろな石の写真がのっていて、わたしのぎ問の答えが見つかるかもしれないと思ったからです。本をよく書いているのは、大きな特ちょうがあるからです。

特におもしろかった石は二つあります。一つ目は「石灰岩」かけすぎいて、酸性の洗剤をかけるとサンゴが出らできます。二つ目は「チャート」で、少しずつ小さくなる放散虫から色やきれいな生きもの火もきえて、昔ごきは物がうよ長い時間をかけて生ものすごくちうい石が変わりました。

旅行で拾ったこの調べると思いました。

玄武岩がありました。本で、石灰岩と拾ったこの二つは同じ場所にあるのは、サンゴが生まれた玄武岩からでもしたマグマが同じ場所にあるのは、ごうかしらでもしたマグマが同じ場所にあるのは、ごうかしらでもしたマグマが同じ場所にあるのは、ごうかしら